

平成29年度 施策評価シート

1 施策の位置付け

基本戦略	B	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
重点プロジェクト	6	防災・減災の推進
施策	1	防災体制・防災活動拠点の強化
目的	市が保有する施設や設備の耐震化、雪害や地震に備えた都市インフラの防災・減災対策、市民の自主防災活動の支援等を通じて、火事などの人災の発生抑制と自然災害発生時の被害の最小化に努めます。	

2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値
		H25	H26	H27	H28	H29	H29
統計	防災訓練実施件数	区	-	36	34	30	66
統計	地区避難所運営マニュアルの策定数	地区	-	1	1	2	10
統計	デジタル移動系防災行政無線の整備率	%	-	0.0	100.0	100.0	100.0
統計	消防団員の充足率	%	-	99.0	100.0	100.0	100.0
市民	地域において自主防災組織の活動が活発に行われていると感じる市民の割合	%	-	50.9	40.7	44.4	52.0
市民	消防・救命救急活動が迅速かつ適切に行われていると感じる市民の割合	%	-	57.6	50.7	46.4	59.0
その他 成果							

3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み④	自然災害対策の推進								
手段	気候変動に起因する自然災害に対応するため、危険箇所や想定被害の把握に努めるとともに、水害対策や河川の整備、砂防や急傾斜地、雨水排水施設の整備などの適切な対策を講じていきます。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	公共下水道雨水幹線整備事業 ※	下水道課	7,000	37,893	30,000		拡充	拡大	①

取り組み⑤	住宅等の耐震化の促進及びライフライン等の耐震化の推進								
手段	耐震化が進んでいない住宅の所有者に対して耐震補強工事の実施を促すとともに、補助金交付などを行います。また、上下水道施設の耐震化の整備を推進します。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	基幹施設耐震化推進事業 ※	上水道課	0	0	0	-	-	-	-
2	送水施設整備事業 ※	上水道課	3,240	43,200	0	×			
3	配水施設整備事業 ※	上水道課	79,930	82,014	136,751	○	拡充	拡大	①
4	下水道施設耐震化推進事業 ※	下水道課	44,000	32,348	100,000	◎	拡充	拡大	①

4 施策の評価

○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	・管路耐震化計画に基づく配水管の更新による耐震化の推進。 ・浸水被害地の解消や、地震時などによる被災に対する安全度を高めるために、施設の耐震化及びバックアップ対策を図る。
(2) 事業の重点化	・配水施設整備事業の配水管の耐震化を推進する。 ・平成29年度は、ゲリラ豪雨などにより浸水被害を受けている区域の快適な市街地を創出するため、「田川左岸4号雨水幹線」の実施設設計に着手し、「田川左岸3-1号雨水幹線」については国土交通省の国道19号拡幅工事と調整を図り工事を計画的に推進する。 ・災害時に下水道が最低限有すべき機能を確保するために、管路施設の耐震化工事、処理施設の調査設計の重点化を図る。
(3) 役割分担の妥当性	・災害時等のライフライン確保の取組を行う。 ・「公共下水道雨水幹線整備事業」「下水道施設耐震化推進事業」は他事業との調整や計画的な事業取り組みが必要である。また、施設整備に多額の費用を必要とすることから県を通じて国庫補助金の確保を図る。

○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 熊井孝浩
作成者	所属 水道事業部下水道課	職名 課長	氏名 保科正明
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 島 徹

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	公共下水道雨水幹線整備事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課				
概要	対象:	市民		体系	B-6-1-4			
	手段:	奈良井川右岸3-1号、田川左岸4号及び田川左岸3-1号雨水幹線工事を計画的に行う。		新/継	継続			
	意図:	局地的なゲリラ豪雨などにより浸水被害を受けている区域の安全で快適な市街地の創出を図る		区分	ハード			
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)			
	○奈良井川右岸3-1号 ○実施設計 □1200 L=120m		○奈良井川右岸3-1号 ○雨水幹線工事 □1200 L=120m ○雨水附帯工及び支障物件補償		○田川左岸4号 ○実施設計 ○田川左岸3-1号 ○雨水幹線工事 □1200 L=200m ○雨水附帯工及び支障物件補償			
	決算額 (千円) 10,800 奈良井川右岸3-1号 10,800		決算額 (千円) 37,893 奈良井川右岸3-1号 37,893 (繰越分)工事、補償 50,513千円		予算額 (千円) 30,000 田川左岸4号 30,000 田川左岸3-1号 0			
財源	特定	10,800	一般	0	特定	30,000	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
奈良井川右岸3-1号整備率(%)	0	16	11	0	73	100			
田川左岸4号整備率(%)							0		2

○事中評価

評価視点											今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性			成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	③	4	1	②	3	4	1	2	③		4	現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				C								皆減	縮小	現状維持	拡大	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等											なし					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)											田川左岸3-1号雨水幹線工事は国道19号九里巾交差点改良工事と同時施工予定である。国が平成30年度に九里巾交差点改良工事を実施する予定であるため、同時施工ができるよう、社会資本整備総合交付金の要望をおこなっていく。					
第1次評価コメント											要求どおり					
第2次評価コメント											-					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	担当係長	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1234
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	配水施設整備事業 ※公営企業会計				担当課	上水道課						
概要	対象:	上水道を使用する市民				体系	B-6-1-5					
	手段:	石綿・ビニール管の配水管は耐震性が低いため、配水管の新設・改良を行う。				新/継	継続					
	意図:	水道水の安定供給を図る。				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○配水管改良				○配水管改良				○配水管改良			
財源	決算額 (千円)	79,930	決算額 (千円)	82,014	予算額 (千円)	136,751						
	配水管改良	71,398	配水管改良	81,722	配水管改良	125,000						
	都市計画事業関連	4,752	下水道関連事業	292	下水道関連事業	11,751						
	設計委託	3,780										
	特定	79,930	一般	0	特定	82,014	一般	0	特定	136,751	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
配水管改良延長(m)	1628.2	1700	1713	930	1277	1200	200		1200

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												避難所等への重要施設に接続する配水管について、耐震化の進捗を図ることが必要。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												土地区画整理事業等、他事業に伴う配水管布設のため、多額の事業費確保が必要。					
第1次評価コメント												広丘東通線(高出地区)については、都市計画道路整備事業の進捗状況に合わせて実施すること。					
第2次評価コメント												-					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	係長	氏名	南山 貴史	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	熊井 孝浩	連絡先(内線)	1220

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	下水道施設耐震化推進事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課		
概要	対象:	下水道を使用する市民			体系	B-6-1-5
	手段:	災害時の緊急輸送路および下水道が最低限有すべき機能を確認するための地震対策計画を策定し、下水道施設の耐震化を行う。			新/継	継続
	意図:	下水道処理施設および緊急輸送路における下水道施設の耐震化を図り、地震等による災害リスクを低減するための事業である。			区分	ハード
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	管路施設 ○調査・設計(耐震診断含む)1.0式 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式		管路施設 ○可とう性継手設置 ○マンホール浮上防止 ○調査・設計(耐震診断含む)1.0式 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式		管路施設 ○可とう性継手設置 ○マンホール浮上防止 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式 ○耐震診断・詳細設計・耐震補強-1.0式 ○可とう性継手設置-9ヶ所 その他施設 ○マンホールトイレ9基 ○仮設ポンプ8台 ○防災倉庫1棟	
財源	決算額 (千円) 計	9,960	決算額 (千円) 計	32,348	予算額 (千円) 計	100,000
	管路施設 調査・設計	0	管路施設 調査・設計	32,348	管路施設 耐震化工事	100,000
	処理施設 調査・設計	9,960	処理施設 調査・設計	0	処理施設 耐震診断	0
			(繰越分)管路耐震工事 87,517千円 (繰越分)処理施設 調査・設計 12,360千円		処理施設 耐震化工事	0
	特定 9,960 一般 0		特定 32,348 一般 0		その他施設 減災対策 0	
					特定 100,000 一般 0	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
管路施設耐震化工事進捗率(%)	0	0	9	9	9	33	33		61
処理施設耐震化工事進捗率(%)	3	6	6	6	6	15	17		25

○事中評価

評価視点											今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性			成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③		4	現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討											皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等											処理場の継手等の耐震化について、当初は平成30~31年度の債務負担による2箇年で実施する計画であったが、平成30年度補助事業の債務負担の対象外になると県から指導あった。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)											処理場の工事について、不明水の少ない時期に施工するため2箇年としていたが、施工時期を1箇月前倒しすれば施工が可能になるとの実施設計の委託先から回答があったため1年での施工としたい。また、2箇年の分割発注では、諸経費が割高になるため工事期間を1年に短縮とすることで経費の削減を図りたい。					
第1次評価コメント											マンホールトイレの設置については、計画的配備がされるよう消防防災課及び施設担当課と調整を図ること。					
第2次評価コメント											要求どおり					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	担当係長	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1234
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成29年度 施策評価シート

1 施策の位置付け

基本戦略	B	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
重点プロジェクト	6	防災・減災の推進
施策	2	都市インフラの長寿命化・再構築と公共施設等の維持管理の最適化
目的	道路、橋梁、上下水道、ごみ処理施設、公共施設等の適切な維持管理による長寿命化と長期的視点に立った統廃合等の検討を進め、適切な管理運営と施設配置を推進します。また、ごみの減量化やリサイクルを促進するとともに、民間が所有する空き家や空地の有効活用と都市基盤の集約化を進めます。	

2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値			達成値			目標値
		H25	H26	H27	H28	H29	H29	
統計	橋梁長寿命化修繕計画による修繕箇所数(橋梁)	箇所	-	16	17	18		18
統計	鉛製給水管の解消率	%	-	73.9	82.8	92.3		100.0
統計	長寿命化計画による管更生延長(ヒューム管・陶管)	m	-	88	88	88		796
統計	公共施設の除却、統合件数(累計)	施設	-	0	8	13		14
統計	ごみの資源化率	%	26.0	-	28.5	27.9		30.0%以上
市民	ごみの減量に向けた分別やリサイクルが盛んであると感じる市民の割合	%	-	69.6	69.4	65.1		75.0
市民	ごみ処理のための施設が整備されていると感じる市民の割合	%	-	53.3	58.6	52.7		55.0
統計	家庭系もえるごみ量(市民1人1日当たり)	g/人日	345	-	337	329		340
統計	事業系もえるごみ量	t/年	6,927	-	7,040	7,052		6,420
統計	塩尻駅北地区の区画整理事業の進捗度	%	-	0.0	2.7	3.8		7.4
統計	優良建築物等整備事業による集合住宅整備戸数	戸	-	0	0	14		18
その他 成果								

3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み②	上・下水道施設の機能維持と増進による水道水の安定供給と不断の下水処理								
	水道水の安定供給や不断の下水処理を行うため、施設の適正な維持管理、計画的な改築・更新を推進します。加えて、上水道事業では、小規模施設などの統廃合、水道システムの再構築による最適化、簡易水道事業の統合等を進めます。下水道事業では、処理施設や管路施設の長寿命化、下水道基本構想の策定などを進めます。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	片丘浄水場移設更新事業 ※	上水道課	121,600			-	-	-	-
2	東山水系水道システム再構築事業 ※	上水道課	43,296	77,911	152,000	○	維持	縮小	③
3	浄水施設整備事業 ※	上水道課	38,418	22,766	40,300	◎	拡充	縮小	④
4	浄水施設改修事業 ※	上水道課		15,000	15,000	-	-	-	-
5	鉛製給水管解消事業 ※	上水道課	109,864	126,589	123,880	×	休廃止	皆減	⑦
6	吉田地区配水施設整備事業 ※	上水道課		69,581	1,345,450	×	休廃止	皆減	⑦
7	三才山沢配水池施設整備事業 ※	上水道課		69,660	5,200	×	休廃止	皆減	⑦
8	水道ビジョンフォローアップ事業 ※	上水道課	15,020			-	-	-	-
9	簡易水道事業の水道事業への統合	経営管理課	5,100	5,900					
10	塩尻市浄化センター第1期長寿命化事業 ※	下水道課	264,870	217,000	329,600	◎	維持	縮小	③
11	下水道ストックマネジメント計画事業 塩尻市浄化センター第2期長寿命化事業 ※	下水道課		0	0		-	-	-
12	小野特環公共下水道長寿命化事業 ※	下水道課		11,664	45,400		維持	縮小	③
13	下水道長寿命化事業(管路施設長寿命化第2期) ※	下水道課	6,992	8,659	41,900	○	維持	維持	⑤
14	公共下水道汚水管路整備事業 ※	下水道課	31,910	96,092	119,600		拡充	縮小	④
15	終末処理施設改修事業 ※	下水道課	43,882	70,208	67,850		拡充	拡大	①
16	排水処理施設改修事業 ※	下水道課	20,644	20,813	16,700	-	-	-	-
17	マンホールポンプ場改修事業(公共下水道事業) ※	下水道課	21,750	20,369	18,950	-	-	-	-
18	マンホールポンプ場改修事業(農業集落排水事業) ※	下水道課	7,803	9,535	7,310	-	-	-	-
19	下水道基本構想策定事業 ※	下水道課	0			-	-	-	-
20	生活排水処理場効率化推進事業 ※	下水道課		0	0	-	-	-	-
21	衛生センター長寿命化事業	下水道課	19,948	21,762	-	-	-	-	-
22	合併処理浄化槽設置事業	下水道課	3,935	3,039	4,282		維持	維持	⑤

4 施策の評価

○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	<ul style="list-style-type: none"> 鉛製給水管解消事業は平成29年度完了に向け着実に進捗を図る。東山水系水道システム再構築事業及び吉田地区配水施設整備事業の進捗を図る。 下水道施設で老朽化の著しい施設、設備を対象に改築・更新を実施し、延命化やLCCの削減を図る。
(2) 事業の重点化	<ul style="list-style-type: none"> 鉛製給水管の確実な解消と、東山水系水道システム再構築事業による東山水源のクリプトスポリジウム汚染の不安解消のため事業の進捗を図る。 塩尻市浄化センターは、供用開始から30年以上経過し各設備の老朽化が著しいため、平成29年度は長寿命化事業により自家発電設備受変電設備の改築・更新を行い施設の機能保全を図る。また、下水道長寿命化事業では、老朽化した管路施設を対象に管更生工事を行い管路施設の延命化やLCCの低減を図るとともに事故防止、機能停止を図る。
(3) 役割分担の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 適正な施設管理・更新を行い、安心・安全な水道水の安定供給を図る。 施設整備に多額の費用を要することから県を通じて国からの補助金の確保を図る。

○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 熊井孝浩
作成者	所属 水道事業部下水道課	職名 課長	氏名 保科正明
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 島 徹

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	東山水系水道システム再構築事業 ※公営企業会計				担当課	上水道課				
概要	対象:	上水道を使用する市民				体系	B-6-2-2			
	手段:	小規模分散施設を統廃合し、水道システムの最適化、水質に不安のある東山水源を廃止し、松塩水道用水の水系に切替える。				新/継	継続			
	意図:	水道水の安定供給、水道システムの最適化によるLCCの低減を図る。				区分	ハード			
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)			
	○東山配水池			○東山配水池			○東山配水池配水管			
	決算額	(千円)	43,296	決算額	(千円)	77,911	予算額	(千円)	152,000	
	送配水管布設		31,946	配水池築造		77,911	配水管布設		17,000	
	調査、設計業務		10,538				送水ポンプ場築造		70,000	
	用地取得、補償		812				電気計装設備		65,000	
	特定		43,296	一般		0	特定		152,000	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
布設延長(m)	1,000	1,177	1,000						
配水池築造				1	1	1			
送水ポンプ場築造							1		1
電気計装設備							1		1

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	③	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③	④	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討													皆減	縮小	現状維持	拡大		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等													特になし。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)													システム再構築の進捗を図るため、計画額を要求する。					
第1次評価コメント													要求どおり					
第2次評価コメント													-					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)									
取組内容										
成果										
課題										

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	技師	氏名	喜多 廉	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	熊井 孝浩	連絡先(内線)	1220

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	浄水施設整備事業 ※公営企業会計		担当課	上水道課		
概要	対象:	上水を使用する市民			体系	B-6-2-2
	手段:	耐用年数を経過した施設の更新・新設を行う。			新/継	継続
	意図:	水道水の安定供給を図るための事業である。			区分	ハード
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	○床尾浄水場施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○塩嶺地区施設整備 ○上水道集中監視施設整備 ○流量計・水位計整備		○床尾浄水場施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○配水池計装盤整備 ○流量計・水位計整備		○床尾浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○流量計・水位計整備	
財源	決算額 (千円)		決算額 (千円)		予算額 (千円)	
	38,418		22,766		40,300	
	特定	38,418	一般	0	特定	40,300
				0	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
施設の整備	4	6	7	3	5	7	3		7

○事中評価

評価視点												今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	レ	②	①	
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	3	④		現状維持		③	⑤			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥				
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討													皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												更新計画以外で突発的に発生した不具合機器の更新が急遽必要となり事業費増となった。							
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												計画の見直しを行い、施設の更新・新設を行なうために新年度予算の拡大が必要。							
第1次評価コメント												要求どおり							
第2次評価コメント												要求どおり							

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主査	氏名	百瀬 等	連絡先(内線)	1219
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	熊井 孝浩	連絡先(内線)	1220

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	鉛製給水管解消事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課			
概要	対象:	鉛製給水管を給水装置として使用している市民				体系	B-6-2-2	
	手段:	計画的な鉛製給水管の解消を行う。				新/継	継続	
	意図:	健康被害の防止、不安の解消、漏水防止による有収率の向上に資する。				区分	ハード	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)			
	○鉛製給水管解消		○鉛製給水管解消		○鉛製給水管解消			
	決算額 (千円)	109,864	決算額 (千円)	126,589	予算額 (千円)	123,880		
	工事費	109,864	工事費	126,589	工事費	123,880		
	特定	109,864	一般		特定	123,880	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
鉛製給水管解消率(%)	82.2%	82.8%	82.3%	90.3%	92.3%	91.1%	92.5%		100%

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	3	④		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦	レ		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討													皆減	縮小	現状維持	拡大	
												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		労務単価上昇や施工箇所が点在しているため、工事費が増額している。															
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		特になし。															
第1次評価コメント		-															
第2次評価コメント		-															

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等水道事業部上水道課	職名	主事	氏名	坂田 孝一	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	熊井 孝浩	連絡先(内線)	1220

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	吉田地区配水施設整備事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課			
概要	対象:	上水道を使用する市民				体系	B-6-2-2	
	手段:	上水道施設の新設				新/継	継続	
	意図:	水道水の安定供給を図る。				区分	ハード・ソフト	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)		
			○測量設計委託 ○用地買収			○送・配水管工事 ○配水池築造工事 ○管理施設建築工事 ○機械設備工事 ○電気設備工事 ○補償費 ○負担金		
	決算額	(千円)	決算額	(千円)	69,581	予算額	(千円)	1,345,450
			測量設計委託		52,940	送・配水管工事		225,450
			用地費		16,641	配水池築造工事		499,000
						管理施設建築工事		249,000
						機械設備工事		83,000
						電気設備工事		254,000
						補償費		1,000
						負担金		34,000
	特定	一般	特定	69,581	一般	0	特定	1,345,450
							一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
施設の整備				1	1	1	1		1

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦	↓		
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討				D								皆減	縮小	現状維持	拡大		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												特になし。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												特になし。					
第1次評価コメント												-					
第2次評価コメント												-					

○事後評価

区分	年間(4月～3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等 水道事業部 上水道課	職名	係長	氏名	南山 貴史	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等 水道事業部 上水道課	職名	課長	氏名	熊井 孝浩	連絡先(内線)	1220

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	三才山沢配水地施設整備事業 ※公営企業会計		担当課	上水道課							
概要	対象:	上水を使用する市民			体系	B-6-2-2					
	手段:	耐用年数を経過した施設の更新・新設を行う。			新/継	継続					
	意図:	水道水の安定供給を図るための事業である。			区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)						
			○三才山沢配水池施設整備		○三才山沢配水池施設整備						
財源	決算額	(千円)	予算額	(千円)	69,660	予算額	(千円)	5,200			
			三才山沢深井戸掘削工事	45,360	既設深井戸ポンプ更新	5,200					
			三才山沢深井戸ポンプ工事	24,300							
		特定	一般	特定	69,660	一般	0	特定	5,200	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
三才山沢深井戸掘削工事				0	0	1			
三才山沢深井戸ポンプ工事				0	0	1			
既設深井戸ポンプ更新									1

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦	レ		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討													皆減	縮小	現状維持	拡大	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												新設深井戸用水に濁りが発生しているため、現在、深井戸の洗浄揚水を実施中。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												今年度事業完了によりなし。					
第1次評価コメント												-					
第2次評価コメント												-					

○事後評価

区分	年間(4月～3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主査	氏名	百瀬 等	連絡先(内線)	1219
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	熊井 孝浩	連絡先(内線)	1220

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	塩尻市浄化センター第1期長寿命化事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課							
概要	対象:	下水道を使用する市民		体系	B-6-2-2						
	手段:	施設の長寿命化に基づき、機械設備等の更新を行う。		新/継	継続						
	意図:	機能停止などの未然防止による処理機能の保全、施設の延命化・LCCの低減を図る。		区分	ハード						
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)						
	長寿命化実施設計 ○管理棟・機械棟改修(建築・建築機械・建築電気) ○沈砂池・ポンプゲート類 ○受変電・自家発電設備長寿命化工事 ○汚泥脱水機設備(No.1脱水機更新、No.3No.4貯留槽防食塗装・攪拌機更新他)		長寿命化工事 ○消化災害防止設備 ○管理棟・機械棟(建築・建築電気) ○機械棟耐震補強 ○沈砂池ポンプゲート設備 ○自家発電設備 ○その他 ○受変電設備・監視制御装置		長寿命化工事 ○消化災害防止設備 ○管理棟・機械棟(建築・建築電気) ○機械棟耐震補強 ○受変電・自家発電設備 ○監視制御装置						
財源	決算額 (千円)	264,870	決算額 (千円)	217,000	予算額 (千円)	329,600					
	長寿命化実施設計	12,870	長寿命化工事	217,000	受変電・自家発電設備・監視制御設備	329,600					
	長寿命化工事	252,000	(繰越分)長寿命化工事 40,000千円								
特定	264,870	一般	0	特定	217,000	一般	0	特定	329,600	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
長寿命化事業進捗率(%)	33.3	32.2	33.3	48.7	50.6	53.8	81.7		100

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	3	④	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価				休廃止	⑦							
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				B				皆減 縮小 現状維持 拡大				コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												補助金の増額により、平成30年度に施工予定であった機械棟耐震化等の工事が実施できる見込であり、前倒しして実施するため補正予算で対応する必要がある。				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												追加する工事は2箇年の債務負担行為の事業であるため、補助金を最優先で確保する必要がある。				
第1次評価コメント												要求どおり				
第2次評価コメント												-				

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											
作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501			
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230			

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	小野特環公共下水道長寿命化事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課				
概要	対象: 下水道を使用する市民			体系	B-6-2-2			
	手段: 施設の長寿命化に基づき、機械設備等の更新を行う。			新/継	継続			
	意図: 機能停止などの未然防止による処理機能の保全、施設の延命化・LCCの低減を図る。			区分	ハード			
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)			
			水処理センター委託料 ○脱水機工事 1式		水処理センター委託料 ○脱水機工事 1式 ○施設長寿命化工事 1式 ○施設耐震補強工事 1式			
財源	決算額 (千円)		決算額 (千円)		予算額 (千円)			
			11,664		45,400			
	特定	一般	特定	0 一般	0	特定	45,400 一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
長寿命化事業進捗率(%)				0	16	16	16		69

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	③	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦		
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討				C								コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		小規模な処理場工事の事業費が増加傾向にある。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		小野特環に関する覚書に基づき辰野町と協調し、計画に沿って施設の更新・新設を進めていく。														
第1次評価コメント		要求どおり														
第2次評価コメント		-														

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長補佐	氏名	明間 健一	連絡先(内線)	1234
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	下水道長寿命化事業(管路施設長寿命化第2期) ※公営企業会計			担当課	下水道課		
概要	対象:	下水道を使用する市民				体系	B-6-2-2
	手段:	老朽化した管路施設等の管更正等による事故防止・機能停止の未然防止を図るとともに施設の延命化を図る。				新/継	継続
	意図:	下水道管路施設等の事故防止、施設の延命化・LCCの低減				区分	ハード
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)		
	長寿命化工事 ○マンホール鉄蓋交換工事 N=50基 ○管更生工事実施設計 L=580m		長寿命化工事 ○管更生工事 L=560m ○管更生工事実施設計 L=760m		長寿命化工事 ○マンホール鉄蓋交換工事 N=3基 ○管更生工事 L=550m		
財源	決算額 (千円)	6,992	決算額 (千円)	8,659	予算額 (千円)	41,900	
	長寿命化工事	296	長寿命化工事	0	長寿命化工事	41,900	
	調査・設計業務	6,696	調査・設計業務	8,659			
		(繰越分)長寿命化工事 63,542千円					
特定	6,992	一般	0	特定	8,659	一般	0
特定				特定	41,900	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
管更生工事延長(m)	0	0	0	0	0	560	1089		1,460

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	3	④	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	④	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討													皆減	縮小	現状維持	拡大		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												なし						
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												補助金の内示率が年度によって大きく変わり、計画通りの事業の進捗が困難であるため、補助金確保のため県を通じて国に対して事業の必要性を強く働きかける必要がある。						
第1次評価コメント												要求どおり						
第2次評価コメント												-						

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	事務員	氏名	遠藤 大珠	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	公共下水道污水管路整備事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課							
概要	対象：下水道を使用する市民			体系	B-6-2-2						
	手段：下水道未整備区域の污水管等の下水道施設整備及び整備済区域の改修を行う。			新/継	継続						
	意図：公共水域の水質保全と、衛生的で快適な生活環境を図る。			区分	ハード						
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)						
	○污水支線工事 L=140m ○污水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○污水支線敷設替工事(太田 污水支線) 対象延長L=320m		○污水支線工事 L=140m ○污水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○污水支線敷設替工事(高出 污水支線) 対象延長L=100m		○污水支線工事 L=140m ○污水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○污水支線敷設替工事(高出 污水支線) 対象延長L=100m ○污水支線工事(EPSON関連) L=200m ○污水支線設計(駅北関連) L=3,000m ○污水樹移設工事(電線共同溝関連)N=20箇所						
	決算額 (千円) 31,910		決算額 (千円) 96,092		予算額 (千円) 119,600						
財源	污水支線工事	16,372	污水支線工事	12,895	污水支線工事	10,000					
	污水樹設置工事	14,974	污水樹設置工事	13,932	污水樹設置工事	10,000					
	私設ポンプ補助	564	私設ポンプ補助	814	私設ポンプ補助	600					
	污水支線敷設替工事	0	污水支線敷設替工事	68,451	污水支線敷設替工事	20,000					
			(繰越分) 污水支線工事 9,655千円		污水支線工事(EPSON関連)	35,000					
				污水支線設計(駅北関連)	29,000						
				污水樹移設工事(電線共同溝関連)	15,000						
特定	31,910	一般	0	特定	96,092	一般	0	特定	119,600	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
要望に対する污水管等整備率(%)	22	19	45	24	76	73	26		100
污水管敷設替延長(m)	0	0	320	176	291	420	291		520

○事中評価

評価視点												今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④		②		①		
1	2	3	④	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③		⑤			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥					
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減		縮小		現状維持		拡大	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												塩尻駅北区画整理事業、EPSON新工場建設、九里巾交差点改良事業の熟度の高まりにより、下水道課で整備すべき管路が明確になったため、事業主体と協調して污水管整備を行なう必要がある。							
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												区画整理等、他事業のスケジュールにあわせ多額の事業費確保が必要。							
第1次評価コメント												広丘東通線(高出地区)については、都市計画道路整備事業の進捗状況に合わせて実施すること。							
第2次評価コメント												-							

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											
作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	事務員	氏名	遠藤 大珠	連絡先(内線)	1235			
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230			

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	終末処理施設改修事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課		
概要	対象:	下水道を使用する市民			体系	B-6-2-2
	手段:	電気設備及び、機械設備の部品交換工事			新/継	継続
	意図:	機能停止や事故などの未然防止			区分	ハード
年度別 事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	塩尻市浄化センター ○電気設備 ○主ポンプ設備 ○沈砂池設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備		塩尻市浄化センター ○電気設備 ○水処理設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備		塩尻市浄化センター ○電気設備 ○水処理設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備	
	決算額 (千円)	43,882	決算額 (千円)	70,208	予算額 (千円)	67,850
	塩尻市浄化センター	41,120	塩尻市浄化センター	63,436	塩尻市浄化センター	62,210
檜川浄化センター	2,762	檜川浄化センター	6,772	檜川浄化センター	5,640	
財源	特定	43,882	一般	0	特定	63,900
	一般		特定	70,208	一般	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
終末処理施設事業進捗率(%)	30.5	24.5	30.5	63.2	63.8	64.3	89.4		100

○事中評価

評価視点												今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の 方向性	拡充		④	②	①		
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③		⑤		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥				
総合評価判定				総合評価				総合評価					休廃止	⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												C				皆減 縮小 現状維持 拡大			
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												なし				コスト投入の方向性			
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												適正な維持管理を行なうため、修繕計画を随時見直していく。							
第1次評価コメント												-							
第2次評価コメント												-							

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	合併処理浄化槽設置事業		担当課	下水道課		
概要	対象:	合併処理浄化槽を必要とする市民			体系	B-6-2-2
	手段:	公共用水域の水質保全を図り、衛生的で快適な生活環境を創出するという課題があるので、合併処理浄化槽の整備を行う。			新/継	継続
	意図:	公共用水域の水質保全と、衛生的で快適な生活環境を図る。			区分	ソフト
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	○合併処理浄化槽設置費補助		○合併処理浄化槽設置費補助		○合併処理浄化槽設置費補助	
財源	決算額 (千円)		決算額 (千円)		予算額 (千円)	
	3,935		3,039		4,282	
	特定	893	一般	3,398	特定	916
			一般	2123	特定	886
					一般	3,396

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
合併処理浄化槽設置基数(基)	1	3	4	3	3	3	0		3

○事中評価

評価視点											今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	レ	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討											皆減					縮小	現状維持	拡大
											コスト投入の方向性							
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		申請に基づく事業であることから、合併浄化槽の設置予定基数、人槽の把握が難しく計画的な整備が困難。																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		当初設置予定基数より設置基数が増えた場合、また、当初予定していた人槽より規模の大きい浄化槽設置の申請があった場合等、当初予算内での対応が困難になった場合は補正予算にて対応が必要。																
第1次評価コメント		-																
第2次評価コメント		-																

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	事務員	氏名	遠藤 大珠	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成29年度 施策評価シート

1 施策の位置付け

基本戦略	B	住みよい持続可能な地域の創造
重点プロジェクト	6	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
施策	3	行政機能の効率化の検討
目的	本戦略の適正な進捗管理を行うとともに、職員の政策立案能力の向上等の人材育成、アウトソーシングも含めた適正な定員管理と人員配置、持続可能な財政運営等を進めることで、効率的、効果的な行政経営を推進します。	

2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値
		H25	H26	H27	H28	H29	H29
市民	職員の対応に好感を持つことができると感じる市民の割合	%	—	53.8	58.6	56.2	58.0
市民	市民による行政サービスの満足度(窓口対応)	%	—	81.6	74.0	80.0	86.0
統計	嘱託員に係る人件費(報酬総額)	円	—	12億4,100万円	10億2,454万円	10億3,355万円	11億5,800万円
統計	第五次総合計画施策指標の達成率	%	—	0	—	—	100
統計	将来負担比率	%	49.9	—	43.7	41.8	100%以内
統計	実質公債費比率	%	7.4	—	7.2	7.3	12.5%以内
統計	市税の収納率	%	95.35	—	96.51	96.73	95.50
その他 成果							

3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み③	職員の育成と人員配置の適正化								
手段	職員としての資質向上と、評価制度の改善により質の高い行政サービスの確保を図ります。また、適正な定員管理と人員配置に努めるとともに、民間活力を導入して行政サービスの維持、効率化を目指します。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	水道料金等賦課徴収業務委託事業 ※	経営管理課		11,020	107,892	◎	維持	維持	⑤
2	浄水施設管理委託事業 ※	上水道課			0	-	-	-	-
3	し尿処理施設管理費	下水道課	29,054	10,291	10,291	○	維持	維持	⑤

4 施策の評価

○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	・平成29年度は、民間が持つノウハウを積極的に活用し、使用者サービス向上と業務の効率化、併せて適正な人員配置の実現に向けて、料金等賦課徴収業務の委託を開始した。また、衛生センターの施設管理業務を引続き民間へ委託する。
(2) 事業の重点化	・水道料金等賦課徴収業務を民間委託し、総合文化センター内へ「塩尻市水道お客様センター」を開設した。また、衛生センターの施設管理業務の民間委託を継続している。
(3) 役割分担の妥当性	・上下水道事業においては、技術職員の退職等により技術力の確保が困難となりつつあることから、民間業者を積極的に活用し技術力を確保することが必要となっている。将来的には、上下水道事業の施設管理や運転管理などの業務全般を包括して委託することによる効率的な事業運営を目指していく。

○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部経営管理課	職名 課長	氏名 野口昌和
作成者	所属 水道事業部下水道課	職名 課長	氏名 保科正明
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 島 徹

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	水道料金等賦課徴収業務委託事業 ※公営企業会計		担当課	経営管理課				
概要	対象:	上・下水道を使用する市民			体系	B-6-3-3		
	手段:	委託業務内容を精査し、プロポーザル方式により業者を選定し、引継ぎ期間を設けスムーズな業務移行を行う。			新/継	継続		
	意図:	専門性による事務効率の向上と良質な市民サービスを提供する。			区分	ソフト		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)			
	○委託業務内容の精査 ○事務所の場所の選定 ○プロポーザル公募要領作成 ○審査基準作成		○プロポーザル実施 ○仮契約 ○新事務所改修設計・工事 ○業務移行準備(平成28年10月~29年3月)		○本稼働(民間委託開始)			
財源	決算額	(千円)	決算額	(千円)	8,801	予算額	(千円)	107,892
			新事務所改修設計管理		885			
			新事務所改修工事		7,916	業務委託料		107,892
	特定	一般	特定	8,801	一般	特定	107,892	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
仕様書の作成		1	1						
プロポーザルの実施				1		1			
事務所改修工事				0	1	1			
3事業会計の平均収納率(%) 現年度分							94.65		98.01
3事業会計の平均収納率(%) 過年度分							47.3		49.34

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	3	④	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	↓	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大		
												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過したに生じた問題等		平成29年6月1日からの郵便料金の改定に伴い、委託料の一部を変更する必要が生じた。また、お客さまセンターの入口が吹き溜まりになり、下から隙間風が入るため、風除室等の設置の検討が必要となった。															
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		郵便料金の改定分を9月補正により対応するとともに、新年度に追加計上の必要がある。また、貸与している上下水道料金システム及び財務会計システムと関連する周辺機器が今年度に5年を経過することから、システムの更新等が必要となっているため、予算を要求していく。															
第1次評価コメント		適正な経費や人員体制となるよう、初年度の取り組みを十分検証すること。															
第2次評価コメント		1次評価どおり															

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長補佐	氏名	矢ヶ崎 小百合	連絡先(内線)	1222
最終評価者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長	氏名	野口 昌和	連絡先(内線)	1210

平成29年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	し尿処理施設管理費				担当課	下水道課					
概要	対象:	し尿処理施設を必要とする市民				体系	B-6-3-3				
	手段:	塩尻市衛生センターの適切な維持管理のために機械設備の点検、修繕を実施し、運転・管理業務の委託を行う。				新/継	継続				
	意図:	公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図る事業である。				区分	ハード				
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)				
	○衛生センターの維持管理			○衛生センターの維持管理業務の委託			○衛生センターの維持管理業務の委託				
財源	決算額 (千円)	29,054	決算額 (千円)	10,291	予算額 (千円)	10,291					
	(嘱託員対応継続)	29,054	運転維持管理業務委託料	10,291	運転維持管理業務委託料	10,291					
	特定	2,577	一般	26,477	特定	0	一般	10,291	特定	0	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
委託事業実施率(%)	0	0	0	100	100	100	100		100

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	↳	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減 縮小 現状維持 拡大					
												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		なし															
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		なし															
第1次評価コメント		引き続き適正な維持管理に努めること。															
第2次評価コメント		-															

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	担当係長	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1234
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230